事務事業調書	No	556	課 名	公園緑地課	起 案 者	古庄朋子
平成23年度			係 名	花とみどりの係	決 裁 者	石川勝己
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	
事務事業名	樹林・樹木保全事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり 1 緑 1 緑と景観 3 緑の保全 1 樹林・樹木の保全	予算科目(会計)	一般会計	
		予算科目(款・項・目)	40-20-15	
		総合計画以外の計画		
		関連する総合計画の施策		
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無	
根拠法令	有	安城市緑化条例		
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開 始	昭和61年度	経 過	25年目
	終 了		期 間	
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	補助金申請者が	～になる	緑の保全をすることで、緑あふれる自然と調和した生活環境になる
事務事業の内容	保護樹木や樹林保全地区の緑の保護を図ります。			
事務事業進捗状況	・保全地区の実績　H17-110,162㎡　H18-110,162㎡　H19-110,089㎡　H20-110,256㎡　H21-110,256㎡　H22－110,256㎡ ・保護樹木の実績　H17-111本　H18-110本　H19-111本　H20-109本　H21-105本　H22－104本			
改善・対策の履歴	本年度より松くい虫の樹幹注入剤の効能期間が３年から５年になった。今年度施工した分から５年後の施工となります。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		11,303	9,648	9,388	6,871	12,060	12,831	9,745
	財 源 計 a		8,291	6,636	6,376	3,859	9,048	9,819	7,486
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他(　　)	0	0	0	0	0	0	0
		一 般 財 源	8,291	6,636	6,376	3,859	9,048	9,819	7,486
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職 員 人 件 費 d		3,012	3,012	3,012	3,012	3,012	3,012	2,259
	内 訳	従 事 職 員 数	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.30
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）		見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	0.00	0.00	0.00	
		指標名(単位)	()	活動の総事業費f 実績	0	0	0	
				単位コストg=f÷b 実績	0.00	0.00	0.00	
	活動②	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	松くい虫被害木自主駆除申請件数(件)	見込(単位)	25.00	25.00	25.00	25.00
			実績(単位)	16.00	6.00	9.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		樹林保全面積(㎡)	見込(単位)	110,089.00	110,256.00	110,256.00	110,256.00
			実績(単位)	110,256.00	110,256.00	110,256.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	樹木、樹林地の保全が図れ、民有地の緑化保全の意識が向上しました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	
	成果1，2	民有地の緑化の樹木・樹林の保全により、二酸化炭素削減及び温暖化防止になりました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	NPOの調査により、今年度は保護樹木や保全地区の確認が出来ました。今後、市として樹木の保全に努めるため、保護樹木や保全地区の定期的の確認作業をします。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	民有地の緑化保全を図るため継続します。